

(作成年月日) 令和5年3月3日

(臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体または通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和4年3月10日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名]

好酸球性消化管疾患における薬物療法・食事療法の有効性・安全性に関する後ろ向き研究

[研究の目的]

この研究は好酸球性消化管疾患に対して、薬物療法(ステロイド局所療法、全身療法、抗アレルギー薬、胆汁酸吸着剤、免疫調整薬、生物学的製剤など)や食事療法(アレルギー物質を取り除く治療、栄養剤など)を行った場合の症状改善率や、治療を長期間続けた場合の再発率、副作用などを調べ、より効果的な治療方法を見つけることを目的としています。

[研究の方法]

対象となる患者さん

2000年1月1日から2035年12月31日の間に香川大学附属病院で好酸球性消化管疾患として診断・治療された方

利用する情報

情報：診断名、年齢、職業、性別、家族歴、既往歴、内服歴、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査、内視鏡検査、病理検査)、症状の経過、副作用の有無、治療継続率、生活の質、追加治療の必要性

[研究組織]

香川大学医学部 消化器・神経内科 助教 千代 大翔

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部消化器・神経内科 担当医師 千代 大翔

電話 087-891-2156 FAX 087-891-2156